

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公表番号】特表2014-513854(P2014-513854A)

【公表日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2014-511529(P2014-511529)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0354 (2013.01)

【F I】

G 06 F 3/033 4 4 2

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月20日(2015.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デバイス上のタッチセンサからタッチセンサデータを、及びポジションセンサから前記デバイスの動きを示すポジションデータを受け取り、メモリに入れるステップと、

処理デバイスが、前記タッチセンサへのコンタクトの動きを、前記ポジションセンサにより示された前記デバイスの動きと比較して、比較結果を提供するステップと、

前記比較結果に基づき前記タッチセンサへのコンタクトに関する情報を提供するステップとを有する、

方法。

【請求項2】

コンタクトの動きが前記ポジションセンサにより示された前記デバイスの動きと同じ方向であるとき、前記コンタクトの動きは意図的なものとして表示される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

コンタクトの動きが前記ポジションセンサにより示された前記デバイスの動きと反対方向であるとき、前記コンタクトの動きは偶発的なものとして表示される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記受け取られるポジションセンサデータは前記デバイスの動きの方向と大きさを記述するデータを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

マルチタッチポインティングデバイスであって、

タッチセンサとのコンタクトを示す出力を有する、前記ポインティングデバイス上の前記タッチセンサと、

前記ポインティングデバイスの動きを示す出力を有するポジションセンサと、

前記タッチセンサと前記ポジションセンサの出力を受け取るように接続された入力を有し、同じ時間フレームの前記ポジションセンサの出力と前記タッチセンサの出力とに関する情報を同期して、前記マルチタッチポインティングデバイスの出力を提供する処理デバイスとを有する、

デバイス。

【請求項 6】

前記処理デバイスは、

第1のサンプル時間のポジションセンサデータを受け取る第1の入力と、第2のサンプル時間のポジションセンサデータを受け取る第2の入力と、前記ポジションセンサにより示されるポインティングデバイスの動きの方向の符号化を提供する出力とを有する動き計算器と、

前記タッチセンサの出力を受け取る第1の入力と、同じ時間フレームの前記動き計算器の出力を受け取る第2の入力と、前記同期された入力を前記マルチタッチポインティングデバイスの出力として提供する出力とを有する同期モジュールとを有する、請求項5に記載のマルチタッチポインティングデバイス。

【請求項 7】

前記動き計算器の出力は前記ポインティングデバイスの動きの方向と大きさを符号化する、請求項6に記載のマルチタッチポインティングデバイス。

【請求項 8】

入力デバイス上のタッチセンサへのコンタクトの動きを記述する情報と、前記入力デバイス上のポジションセンサにより示される前記入力デバイスの動きを記述する情報を記憶するメモリと、

前記タッチセンサへのコンタクトの動きを記述する情報を受け取る第1の入力と、前記ポジションセンサから前記入力デバイスの動きを記述する情報を受け取る第2の入力と、比較結果を提供する出力とを有する比較器を含む処理デバイスとを有する、コンピューティングマシン。

【請求項 9】

コンタクトの動きが前記ポジションセンサにより示される入力デバイスの動きと同じ方向であるとき、前記コンタクトの動きは意図的なものとして表示される、請求項8に記載のコンピューティングマシン。

【請求項 10】

コンタクトの動きが前記ポジションセンサにより示される入力デバイスの動きと反対方向であるとき、前記コンタクトの動きは偶発的なものとして表示される、請求項8に記載のコンピューティングマシン。